

単元名

現代社会の特色と私たち

1 単元のねらい

現代の日本の特色として少子高齢化，情報化，グローバル化などが見られることを理解するとともに，それらの変化が政治・経済・国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察することを通して，これからの変化の激しい社会における課題の解決に向けて主体的に社会に関わろうとする態度を育てる。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元 の 評 価 規 準	・現代の日本の特色として少子高齢化，情報化，グローバル化などがみられることについて理解している。	・少子高齢化，情報化，グローバル化などが政治・経済・国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し，表現している。	・現代社会における課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に関わろうとしている。

●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価

	1	2	3	4	単元まとめ
知識・技能			○	●	
思考・判断・表現		○			
主体的に学習に 取り組む態度	●				○

単元名

現代社会と私たち

単元学習前の生徒の認識

歴史では世界との結びつきを強めながら発展してきた日本の様子について学習してきた。現代において日本にはどのような変化が起きているのだろうか。そして、その変化は私たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか。

第1時 T市のまちの様子から現代社会をながめてみよう・持続可能な社会に向けて

【●主体的に学習に取り組む態度】

私たちの現代社会はどのように変化しているのだろうか。

☆グローバル化 ☆少子高齢化 ☆情報化 ☆持続可能性 ☆社会参画

私たちの身の回りにあるものはグローバル化、少子高齢化、情報化の影響を受けていることが分かった。しかし、日本には多くの課題があることも分かった。現代の特色についてもっと学習して、「持続可能な社会」に向けて、自分たちに何ができるのかを考えていきたい。

第2時 グローバル化 【○思考・判断・表現】

グローバル化は日本にどのような影響をあたえているのだろうか。

☆グローバル化 ☆国際競争 ☆国際分業 ☆国際協力

グローバル化はヒト・モノ・カネ・情報が行き来することで、私たちの生活に大きく影響を与えている。年々日本の食料自給率が低下していることもそうだ。しかし、すべての自給率を上げることは難しい。自国の得意なことに専念し、苦手なことは他国にお願いする国際分業が効率的であることが分かった。

第3時 少子高齢化 【○知識・技能】

日本の少子高齢化はどのように進んでいるのだろうか。

☆少子高齢化 ☆平均寿命 ☆核家族世帯 ☆合計特殊出生率

少子高齢化と聞くとマイナスなイメージがある。「労働力がなくなる」「多くの高齢者を少ない若者で支えなければならない」など。しかし、この変化は女性の権利が認められるようになってきたことや医療技術の発達が生み出したものだ。豊かさは新たな課題を生む。その課題を一部の人に押し付けるのではなく、社会全体の課題としてみんなで考えていくことが人権を大切にすることにつながると思う。

第4時 情報化 【●知識・技能】

情報リテラシーを身に付けるために大切にしなければならないことは何だろうか。

☆情報化 ☆人口知能（AI） ☆情報リテラシー ☆情報モラル

新聞記事とネットニュースを比べてみると、記事の取り扱い方や立場による表現の制約があることが分かった。新聞は新聞社が出版しているので情報の出所が明確だけれど、ネットニュースは誰が発信しているのかが分かりづらいものがあつた。誰もが SNS を通じて情報を発信できる時代になったけれど、発信する以上は正しいことを伝える義務が私たちにはあると思った。自分が情報を集める際は、情報の出所を必ず確認をして正しく情報を活用できるようにしたい。

第5時 単元のまとめ 【○主体的に学習に取り組む態度】

グローバル化・少子高齢化・情報化がさらに進むと、日本はどのように変化していくのだろうか。

テレビ番組で「持続可能な社会」「SDGs」という言葉をよく聞くようになったけれど、自分には関係ないと思っていた。でもこの単元の学習で身の回りに起きていることは日本が変化している結果なのだと実感した。これからは変化は続いていく。今あるものがなくなってしまうかもしれない。でも農業とか漁業とか残していきたいものもある。その残していきたいものを残せる社会が「持続可能な社会」なのかもしれないと思う。そのためには今の日本のいいところをもっと知る必要がある。日本の文化は世界に人気だ。それらの文化の種類や役割について次からは勉強したい。

持続可能な社会の実現に向けて、私たちは社会にどう関わっていけばよいのだろうか

単元学習後の生徒の認識

豊かさを追求する中で、日本は世界とのつながりを強めていくグローバル化や誰もが手軽に世界の情報を手に入れたり、発信したり、活用したりなどできる情報化が進んできた。さらに少子高齢化によって働き方も大きく変わりそうだ。私たちは変化の中にいる。その変化に合わせて、持続可能な社会の姿を一人一人が考えていく必要があると感じた。

4 単元指導計画

	ねらい	おもな学習活動	評価規準	資料および留意点
<p>1 T市のまちの様子から現代社会をながめてみよう・持続可能な社会に向けて</p>	<p>身の回りの様子の写真を分類することを通して、グローバル化、少子高齢化、情報化といった現代社会の特色に気づき、変化によって生じる課題の解決を図りながら、持続可能な社会の形成を目指す必要性について理解する。</p> <p>☆グローバル化 ☆少子高齢化 ☆情報化 ☆持続可能性 ☆社会参画</p>	<p>1 教科書P6, 7「みんなでチャレンジ」をもとに、昔の日本と比べて変化している様子をつかむ。</p> <p>2 本時の学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>私たちの現代社会はどのように変化しているのだろうか。</p> </div> <p>3 教科書P6, 7「みんなでチャレンジ」(1)をもとに、資料①～⑥をグローバル化、少子高齢化、情報化に分類する。</p> <p>4 自分の考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・②は少子高齢化に当てはまると思います。「ちょっとがうれしい」と書いてあるので、一人暮らしの高齢者に向けて少量販売をしているのだと思います。 <p>5 教科書P8, 9の資料⑥より日本の課題について確認し、持続可能な社会を形成するための社会参画の必要性について説明した後、単元を貫く課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【単元を貫く課題】持続可能な社会の実現に向けて、私たちは社会にどう関わっていけばよいのだろうか。</p> </div> <p>6 本時のまとめをする</p>	<p>・現代社会に見られる変化について、歴史で学習した日本の様子を振り返りながら粘り強く個人追究に取り組んでいる。(●主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>◇教科書P6, 7「みんなでチャレンジ」</p> <p>◇教科書P8, 9⑥「持続可能な社会のために解決すべき課題」</p>
<p>私たちの身の回りにあるものはグローバル化、少子高齢化、情報化の影響を受けていることが分かった。しかし、日本には多くの課題があることも分かった。現代の特色についてもっと学習して、自分たちに何ができるのかを考えていきたい。</p>				
<p>2 グローバル化</p>	<p>グローバル化が与える影響について追究することを通して、世界とのつながりを強めることには一長一短あることに気づき、自国の得意な産業に力を入れる「比較優位」の考えのもと効率よく物を手に入れることが貿易の本質であることを理解する。</p> <p>☆グローバル化 ☆国際競争 ☆国際分業 ☆国際協力</p>	<p>1 教科書P10, 11の資料④・⑧から、日本はどんな国とのつながりが深まっているか読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本で暮らす外国人のほとんどはアジアの人たちだ。地理的に距離が近いことや高い賃金を求めて労働者として移り住んできているのではないか。 <p>2 グローバル化の定義を確認したあと、本時の課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>グローバル化は日本にどのような影響をあたえているのだろうか。</p> </div> <p>3 教科書P10, 11の資料⑩から食料自給率の推移について読み取る。</p> <p>4 自分の考えを交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1980年代以降から魚介類の割合が減っている。外国産の輸入が増えたのかも。安い商品が増えるは嬉しいけれど、輸入がストップしたら日本の食料は大丈夫かな。 <p>5 本時のまとめをする</p>	<p>・グローバル化などが政治・経済・国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。(○思考・判断・表現)</p>	<p>◇教科書P10, 11④・⑧</p> <p>◇ビジュアル公民P15③貿易のしくみ</p> <p>お互いの国が得意なことに専念して生産し、それを交換することで効率よく物を手に入れることができることを説明する。</p>
<p>グローバル化はヒト・モノ・カネ・情報が行き来することで、私たちの生活に大きく影響を与えている。年々日本の食料自給率が低下していることもそうだ。しかし、すべての自給率を上げることは難しい。自国の得意なことに専念し、苦手なことは他国にお願いする国際分業が効率的であることが分かった。</p>				

	ねらい	おもな学習活動	評価規準	資料および留意点
3 少子高齢化	<p>合計特殊出生率の低下の理由について追究することを通して、女性の社会進出や核家族化、価値観の多様化などの変化が大きく影響していることに気づき、少子化の問題は女性だけの問題ではないことを理解する。</p> <p>★少子高齢化 ★平均寿命 ★核家族世帯 ★合計特殊出生率</p>	<p>1 教科書 P12 の資料①にある人口ピラミッドをもとに、少子高齢化が進んでいることを確認し、本時の課題を設定する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">日本の少子高齢化はどのように進んでいるのだろうか。</p> <p>2 教科書 P12 資料④・⑤をもとに、世帯の種類とその推移について説明する。</p> <p>3 教科書 P12 資料②をもとに、合計特殊出生率の定義とその推移について説明する。</p> <p>4 合計特殊出生率はどのようにして低下しているのかを追究する。 ・資料⑩から共働き世帯が増えていることが分かる。女性の社会進出が進んだことや核家族化による仕事と子育ての両立の難しいことが理由として考えられる。また、結婚・出産・マイホームというこれまでの価値観が変わり始めているのかも。</p> <p>5 本時のまとめをする</p>	<p>・合計特殊出生率の低下の理由について、女性の社会進出や核家族、価値観の多様化などがあることについて理解している。(○知識・技能)</p>	<p>◇教科書 P12 ① ◇教科書 P12 ④・⑤ ◇教科書 P12 ②</p> <p>◇教科書 P13 ⑩</p>
		<p>少子高齢化と聞くとマイナスなイメージがある。労働力がいないとか、多くの高齢者を少ない若者で支えなければならないとか。しかし、この変化は女性の権利が認められるようになってきたことや医療技術の発達が生み出したものだ。豊かさは新たな課題を生む。その課題を一部の人に押し付けるのではなく、社会全体の問題としてみんな考えていくことが人権を大切にすることにつながっていくと思う。</p>		
4 情報化	<p>新聞とネットの記事の違いについて追究することを通して、記事の取り扱い方や情報の信頼性、立場による表現の制約などに違いがあることに気づき、確かな情報源から情報を得ることが大切であることを理解する。</p> <p>★情報化 ★人口知能(AI) ★情報リテラシー ★情報モラル</p>	<p>1 教科書 P15 の資料⑤～⑩をもとに情報機器の発達について確認する。</p> <p>2 『スマホ脳』(アンデシュ・ハンセン著)を読み、スマホの依存性について説明する。</p> <p>3 情報を正しく活用するための情報リテラシーの必要性について話し、本時の課題を設定する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">情報リテラシーを身に付けるために大切にしなければならないことは何だろうか。</p> <p>4 ビジュアル公民 P20～23 をもとに、新聞の見方について説明する。</p> <p>5 新聞とネットの記事にはどのような違いがあるのか追究する。 ・新聞は1面を見ればどのニュースが一番重要なかが分かる。ネットニュースは随時更新されていてリアルタイムの情報が手に入る。しかし、誰が情報を発信しているかが分かりづらい。</p> <p>6 本時のまとめをする</p>	<p>・情報化によるメリット・デメリットについて理解している。(●知識・技能)</p>	<p>◇教科書 P15 ⑤～⑩ ◇『スマホ脳』(アンデシュ・ハンセン著)</p> <p>◇ビジュアル公民 P20～23 「特集メディアリテラシーを身に付けよう」 ◇新聞記事 ◇ネットニュースのトップ画面</p>
		<p>新聞記事とネットニュースを比べてみると、記事の取り扱い方や立場による表現の制約があることが分かった。新聞は新聞社が出版しているので情報の出所が明確だけれど、ネットニュースは誰が発信しているのかが分かりづらいものがあつた。誰もがSNSを通じて情報を発信できる時代になったけれど、発信する以上は正しいことを伝える義務が私たちにはあると思った。自分が情報を集める際は、情報の出所を必ず確認をして正しく情報を活用できるようにしたい。</p>		

グローバル化・少子高齢化・情報化の視点でこれからの日本を未来予測することを通して、それぞれの変化によって生まれる豊かさを生かし、課題を最小化することが必要であることに気づき、変化に合わせて自分から社会に参画していこうとする態度を育む。

- 1 東京オリンピックの開会式の様子から読み取れる現代社会の特色は何かを交流する。
 - ・ドローンで空中にオリンピックのエンブレムを表現している。
 - ・外国人の人も分かるように競技種目をピクトグラムで表現している。
- 2 教科書P16・17「もっと公民 新しい情報技術で社会が変わる」を読み、本時の課題を設定する。

グローバル化・少子高齢化・情報化がさらに進むと、日本はどのように変化していくのだろうか。

- 3 グローバル化・少子高齢化・情報化の中から一つ選び、さらにこれらの変化が進むとこれからの社会がどのように変化するのかを未来予測し、交流する。
 - 【グローバル化】
 - ・食料自給率はより一層低下していくことが考えられる。人口減少が進んでいるため、労働者も減っていくからだ。しかし、その分国産の商品価値が上がるはずだ。国産の良いところは安心・安全や美味しいことだ。この価値を前面に打ち出せば農業や漁業は廃れずに済むのではないか。
 - 【少子高齢化】
 - ・少子化はこれからも進んでいくと思う。LGBTの議論が進み、多様な価値観を認める社会へと変わってきている。これはいいことだと思う。飲食店では「おひとりさま歓迎」という看板を見たことがある。いろんな人の自由が認められてきている。「子どもを産む」というのはあくまで一つの選択肢であっていいのだと思う。
 - 【情報化】
 - ・AIが発達することによっていろんな仕事がなくなると聞いたことがある。自動運転が始まれば運転手という仕事なくなる。セルフレジが広まれば、レジ打ちの仕事なくなる。つまり必要とされる労働人口は少なくなる。だから少子化で人口が少なくなったとしても心配いらぬのではないだろうか。どんな仕事が残るのだろうか。AIがやるべき仕事と人間がやるべき仕事を分ける必要があると思う。その分かれ目になる基準は「人が人の為を思っている仕事かどうか」かもしれない。
- 4 単元課題を再提示し、考えをまとめる。

・現代社会に見られる課題の解決に向けて、自らの学習を振り返りながら粘り強くこれからの日本の未来予測に取り組み、主体的に関わろうとしている。(○主体的に学習に取り組む態度)

◇東京オリンピック開会式の動画

◇教科書P16・17「もっと公民 新しい情報技術で社会が変わる」

テレビ番組で「持続可能な社会」「SDGs」という言葉をよく聞くようになったけれど、自分には関係ないと思っていた。でもこの単元の学習で身の回りに起きていることは日本が変化している結果なのだと実感した。これからも変化は続いていく。今あるものがなくなってしまうかもしれない。でも農業とか漁業とか残していきたいものもある。その残していきたいものを残せる社会が「持続可能な社会」なのかもしれないと思う。そのためにも今の日本のいいところをもっと知る必要がある。日本の文化は世界に人気だ。それらの文化の種類や役割について次からは勉強したい。

